

# 竹川病院

理学療法士 金田悠

功 績	医療安全委員リスクマネージャーとして部門の安全管理をけん引している功績
推 薦 者	リハビリテーション部 可児利明
推 薦 理 由	地道な声掛けを続けることで安全意識を高め、レベルゼロ報告件数を増やし重大事故の予防に努めている功績  リハビリテーション介入中のレベル3以上の重大事案発生を未然に防いでいることから。

## 内 容

理学療法士金田は竹川病院に入職し15年目となる副主任です。リハビリテーション部の医療安全委員でありリスクマネージャーを担当しています。リスクマネージャーとしてリハ介入中の転倒事故防止の勉強会や新人入職時の研修を担うなど精力的に活動してくれています。今年度は特にレベルゼロの報告を増やすことで安全意識を高めることを重点課題としています。病院全体の目標としてレベルゼロ報告を毎月95件としていますが、今年度実績はリハビリテーション部単独で4月45件、5月99件、6月72件を報告しています。

この結果は朝礼や、部門アナウンスで周知することはもちろんですがアナウンスするだけでは報告件数を増やすことは困難です。特に若いスタッフなどは他者からみても危ないなと思うことはあっても、本人は気づいていなかったり、ヒヤリともしていないことが多々あります。そんな時に「今の場面はどうだった?」と優しく声をかけ、一緒に場面を振り返ります。他者からの目線や、このことがどんな事故につながる可能性があるのかを説明し理解してもらうことでレベルゼロ報告を増やしていきます。とても手間のかかることですが若いスタッフには新しい気づきがあり、特に経験の浅いスタッフの多いリハビリテーション部にとっては実践に即した教育となっています。今後の課題として、スタッフ起因(A')のレベルゼロのインシデント報告をあげてもらい、リハビリ介入中の転倒が少しでも減るようにしていきたいと考えています。大きな事故になってしまう前に防ぐことが目標です。

金田は今年度より4階病棟の配属となっていますが、4階の報告件数が4月29件、5月49件、6月40件と突出して多いのもこういった取り組みの成果が表れています。そしてこの取り組みは他の階へも波及していき部門全体の安全意識を高めることができます。